



宿題たしかめ表

12月4日～12月10日

お家の人のサイン		今週の宿題
	1	音読 P63～P79
	2	漢字かんぺきくん P36～P38
	3	漢字書きテストの練習 かんぺきくん P39
	4	漢字読みテストの練習 漢字の広場⑤⑥読みテスト練習
	5	宿題プリント2枚・教科書プリント3枚
	6	「プラタナスの木」の紹介文の仕上げ →タイプして提出
	7	来週の新出漢字 二十五
	8	言葉パズル-ことわざ慣用句③⑧
	9	短作文「今週の慣用句②⑥」
	10	12月の一言日記を続ける。
	11	12月の歌「よろこびの歌」をウェブサイトを見て歌う。



音読カード きのうちより上手に読めたかな

よくできた ◎ できた ○ もうすこし △

読んだところ	(プラタナスの木・感動を言葉に)						
よ む め あ て	土	日	月	火	水	木	金
① しせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 句読点で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内容がわかる							
お 家 の 人 の サ イ ン							

* 漢字の読みの練習をしましょう。

負ける	意見	代表	投げる	作品	柱	お客様	短い	整理	住所	湯	登る	信号
苦しい	球を打つ	進級	交流	新学期	皮	二階	消す	遊具	手帳	車庫	美化運動	待つ
守る	必死	第二回	詩	始業式	運動会	学級会	文章	身長	一丁目	屋根	拾う	漢字
他校生	勝つ	反対	文集	山田君	毛筆	決定	道路	寒い	洋服	両親	写真	勉強

宿題プリント

梓組

★ 線の漢字の読みがなを書きましょう。

① 笑う

② 満月

③ 出欠

④ 協力

⑤ 街灯

⑥ 続く

⑦ 絵画

⑧ 芽が出る。

⑨ 位置

⑩ 漁に出る。

⑪ 借りる

⑫ 機械

⑬ 差す

⑭ 直径

⑮ 命令

⑯ 浴びる

⑰ 風景

⑱ 孫

⑲ 百貨店

⑳ 浅い

★ ①に合う漢字を書きましょう。

① えいよう

② がある。

③ 気が

ち

④ 式に

さんか
する。

④ 話の けつまつ

⑤ うめ

の花。

⑥ はくぶつかん

⑦ そつぎようしき

⑧ まつ

のえだ。

⑨ なか

を取りもつ。

⑩ もちを や

⑪ とうぜん

のこと。

⑫ ふしぎ

⑬ 心に のこ

⑭ しかい

をつとめる。 ⑮ 家の まわり。

★3 次の□に共通して入る言葉を、()に平がなで書きましょう。

① 風が□。試験に□。バスが□。

② 飯を□。手間を□。人を□。

③ 紙を□。約束を□。てきを□。

④ 宿題を□。耳を□。簡単に□。

★4 次の「」内が慣用語になるように、()に言葉を入れましょう。

① 両者が「」を散らして「戦う」。

② 算数の問題を、「」をひねって「考える」。

③ わたしの兄と弟は、「」二つ「だ」。

④ 祖父の「」のひと声「で、大そうじをすることになった」。

⑤ 事故を起こし、社員一同「」を正す「ことが必要だ」。

⑥ 二人は「」が合う「らしく、すぐに親しくなった」。

⑦ 子どもたちは「」の子を散らすように「にげた」。

⑧ 「」をつかむような「話で、あてにできない」。

⑨ 悪い仲間から「」をあらう「」。

⑩ おじのことは「」の便り「で聞いている」。

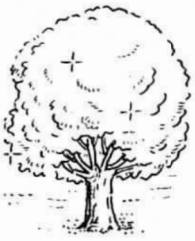


ブラタナスの木(1)

マーちゃんいつも遊んでいる仲間は、せいの高い花島君^{はなじま}とハイソックスが好きなクニスケ。それに、アラマちゃんだ。本当は荒井^{あらい}さんというのだけれど、口ぐせが「あらま。」だから、いつのまにか、そうよばれるようになった。四年生になって、クラスは別々になったけれど、それまではずっと同じクラスで、家も近かったからいまだに仲良しだ。

マーちゃんたちが集まるところは川ぞいの公園で、バスケットコートぐらいの広さしかない。公園は、何も植えられていないかだんで囲まれている、古い大きなブラタナスの木が一本だけ生えているので、ブラタナス公園とよばれている。中学生や幼児^{ようじ}連れの母親などはめったにこないから、マーちゃんたちは、自分たちの遊びができた。水飲み場があるのも助かるけれど、何よりうれしいのは、この公園では、時間によってボール遊びができることだった。他の公園では、ボール遊びは禁止^{きん}なのだ。

最近熱中しているのは、サッカー。リダーはクニスケだ。クニスケは、サッカーをするときには、ハイソックスの中にすね当てを入れる。本格的^{かく}なのだ。二人がゴールキーパーと守りになり、二人がドリブルやパスをしてせめる。かだんとかだんの間に二メートルぐらいの空間があつて、そこがゴールだ。



上の文章を読んで答えましょう。

名前

(1) マーちゃんの遊び仲間を書きましよう。



(2) 荒井さんがアラマちゃんと呼ばれるのは、なぜですか。

(3) マーちゃんと仲間たちが、いまだに仲良しなわけを書きましよう。

(4) ブラタナス公園について答えましよう。

① 広さはどのくらいですか。

② なぜ、ブラタナス公園とよばれているのですか。

③ マーちゃんたちが、ブラタナス公園を気に入っているいちばんのわけは、何ですか。

(5) マーちゃんたちが、ブラタナス公園で最近熱中しているサッカーの遊び方について答えましよう。

① どんな方法で遊んでいますか。

② 何をゴールにしていますか。

プラタナスの木 (2)

そのうちに、マーちゃんたちとおじいさんはだんだん親しくなり、サッカーにつかれると、みんなプラタナスの木の下に集まって、おじいさんと話をするようになった。おじいさんが「みんな水をもっとたくさん飲んで、少し日かげに入って休まないと熱中症になるよ。」と言ったのがきっかけだった。太陽の光が夏に向かつてずんずん強くなり、大きな葉のプラタナスの木の下が、とてもよい日かげになるのだ。

おじいさんの話はいつもおもしろかった。

ある日、おじいさんは不思議なことを言った。

「このプラタナスの木が、さか立ちしているところを考えたことがあるかい。」

「あらま。木がさか立ち。」

アラマちゃんが、いつものようにおどろいた。

「そう。この木がさか立ちするだろう。」

⑥



木のみきや枝葉と同じぐらいの大きさの根が出てくるんだよ。木というのは、上に生えている枝や葉をささえるために、土の中でそれと同じぐらい大きな根が広がって、水分や養分を送っているんだ。」

「どの木もみんなそうなんですか。」

今度は、花島君がマーちゃんの頭へしにきいた。

「たいていの木は、大きな根が地面の下にぎっしり広がっているのさ。」

⑦

「このプラタナスの木が公園全体を守っている、といってもいいくらいだ。もし、地上のみきや枝葉がなくなったら、根は水分や養分を送れなくてこまってしまうんだ。」

マーちゃんと花島君とクニスケは「ふうん。」

と同じような声を出したが、アラマちゃんは

③ 「あらま。」と言った。

それにしても、木の根がこまってしまうなんて、初めて聞く話だ。おじいさんの話を聞いていると、おじいさんは、公園のできるずっと前からプラタナスのことを知っているみたいだ。

上の文章を読んで答えましょう。

名前

(1) マーちゃんたちが、プラタナスの木の下に集まるようになったのは、なぜですか。

のプラタナスの木の下が、

とてもよい

になるから。

(2) おじいさんが言った不思議なことは、どんなことですか。

(3) おじいさんの話について答えましょう。

① プラタナスの木の根はどのぐらいの大きさだと言っていますか。

② 大きな根は、どんな働きをしていると言っていますか。二つ答えましょう。

(4) こまってしまうについて答えましょう。

① 木のどの部分が、こまるのですか。

② どうしてこまるのですか。

地上の () や () がなくなった

ら、 () や () を送れないから。

(5) おじいさんの話を聞いて、マーちゃんはどんなことを思いましたか。

(6) 文中の⑥⑦③にあてはまる言葉を () から選んで書きましょう。

⑥

⑦

③

しかし・すると
だから・やっぱり



プラタナスの木 (3)

夏休みに入るとすぐ、花島君とクニスケはお母さんのふるさとに帰省し、アラマちゃんは、家族と海外旅行に出かけてしまった。一人残ったマーちゃんがプラタナス公園に行く、いつものようにおじいさんがやって来て、ベンチにすわった。マーちゃんは自分ももうすぐお父さんのふるさとに行くので、夏休みが終わったら、またみんなで来るから、と言った。「お父さんのふるさとには、木がいっぱいあるだろう。みんなによろしく。」

おじいさんは、㊸ 笑った。

夏休みも半ばというころ、マーちゃん



は、祖父母の家に行った。家の周りには森が広がっている。森にはいろいろな木や草が生え、鳥やせみの声が満ちていた。森と森の間には小川が流れ、小さな魚が、ときどき白いはらを見せてきりと光った。マーちゃんは、この森の中で毎日走り回って遊んだ。

マーちゃんが祖父母の家に来て一週間ほどたったある日、大きな台風が森をおそった。森はおこったようにゆれ、小川は濁流（だうりゅう）となってあばれた。鳥やせみも、どこかにすがたを消した。テレビは、今年いちばんの強い台風だと伝えている。早々とふんに入ったマーちゃんは、ゴーゴー鳴りひびく台風の音を聞きながら、プラタナス公園のおじいさんの顔を思い出した。最初ははつきりしていたおじいさんのえがおが、しだいに㊹ ㊺ としていく。マーちゃんは、いっしう深いねむりに落ちていった。

一夜明けると、台風は通りすぎていた。青く晴れ上がった空の下で、あんなにゆれていた森は、今は静かに太陽の光を受けて㊻ ㊼ かがやいている。小川はまだ濁流のままだったけれど、鳥やせみはうれしそうに鳴き始めている。マーちゃんは、おじいさんの言葉を思い出した。森の一本一本の木の下には、それと同じくらい大きな根が広がっている。マーちゃんには、なぜか今、それがはつきりと見えるような気がする。だから、強い風がふいても木はかんたんにはたおれたりしないし、森もくずれたりしないのだ。一本一本の木とその根が、ずっと昔から森全体を守り、祖父母の家だって守ってきたのだ。

上の文章を読んで答えましょう。

名前

- (1) マーちゃんは、プラタナス公園でベンチにすわったおじいさんにどんな約束をしましたか。

- (2) おじいさんが言った㊽ ㊾ とは何のことですか。

- (3) 夏休みの半ば、マーちゃんが行った祖父母の家の周りの森や川の様子を書きましょう。

森

川

- (4) 台風のとときの森や川の様子が、生き物のようなたとえて書かれています。それぞれ四字でぬき書きしましょう。

森

川

- (5) はつきりと見えるような気がするところがありますが、何がはつきり見えるような気がしたのですか。

- (6) 森全体や祖父母の家を守ってきたのは何だと言っていますか。

- (7) 文中の㊿ ㊽ ㊾ にあてはまる言葉を㊿ から選んで書きましょう。

㊿

㊽

㊾

ほんわか
びかびか
ぼんやり
ふっくら
にっこり

梓組 新出漢字 二十五

部首
兆
画
読み方
訓 音

部首
察
画
読み方
訓 音

部首
候
画
読み方
訓 音

部首
巢
画
読み方
訓 音

部首
宮
画
読み方
訓 音

部首
標
画
読み方
訓 音

名前

梓組 新出漢字 二十五

<div>部首</div> <div></div> <div>画</div> <div>読み方</div> <div>訓 音</div> <div></div>	<div>部首</div> <div></div> <div>画</div> <div>読み方</div> <div>訓 音</div> <div></div>	<div>部首</div> <div></div> <div>画</div> <div>読み方</div> <div>訓 音</div> <div></div>	<div>部首</div> <div></div> <div>画</div> <div>読み方</div> <div>訓 音</div> <div></div>	<div>部首</div> <div>鏡</div> <div>画</div> <div>読み方</div> <div>訓 音</div> <div></div>	<div>部首</div> <div>億</div> <div>画</div> <div>読み方</div> <div>訓 音</div> <div></div>	名前
--	--	--	--	---	---	----

37

お楽しみパズル⑥ 線つなぎ

線ですなでことわざや慣用句を作ろう。

絵と言葉を線でむすんで、ことわざや慣用句にしよう。正しい組み合わせはどれかな？ くわしいとき方は 11 ページにあるよ。

1

たぬき



こばん

すずめの



なみだ

ねこに



ねいり

2

あたま
頭を



のばす

まゆを



かかえる

あし
足を



ひそめる

38

お楽しみパズル⑥ 文字めい路②

ことわざや慣用句をたどって、ゴールを目指そう。

めい路の中から□のことわざや慣用句をさがして、ゴールを目指そう。くわしいとき方は 10 ページにあるよ。

あんずるよりうむがやすい、あめふってじかたまる

スタート

あ	ろ	え	ば	く	ち	び	ま
め	の	た	ま	る	あ	ど	き
ふ	も	か	ゆ	う	ん	ず	る
つ	て	じ	き	を	か	ね	よ
ぶ	う	う	ん	つ	む	う	り
ね	み	ち	わ	げ	が	ま	み
ふ	に	り	た	る	や	す	い

ゴール

今週の慣用句二十六 十二月四日

梓組 名前

今週は「氣と心と人との関係」かんけいに関する慣用句の三枚目です。

意味を知って使えるようにしましょう。つか

ばつが悪い

意味―その場の調子が悪い。きまりが悪い。

人を食う

意味―人を小ばかにしたような言動をやる。

不意をつく

意味―相手に対して、だしぬけによきしないことを言う。

世話を焼く

意味―進んで人のめんどうをみる。

知恵をしぼる

意味―ありったけの知恵で一生けんめい考えて、よい意見を出そうとする。

そつがない

意味―むだがない。手落ちがない。

最近の出来事



上の慣用句を一つ以上使って、最近の出来事を短い作文（主語・述語を明確に）かんようく さいきん できごと しゅご じゆつご めいかく にしてみましょう。

自分の経験でも、聞いた話でもいいです。けいけん きいたはな でもいいです。
使い方がよく分からない時は、国語辞典で調べ、例文を参考に考えてみましょう。れいぶん さんこう
